



熊本県に被害を及ぼす地震！

熊本県に被害を及ぼす地震は、主に陸域や沿岸部の浅い場所で発生する地震と、日向灘など東方の海域で発生する地震です。

別府-島原地溝帯に沿って発生する被害地震は、阿蘇山周辺と熊本市周辺で多くなっており、陸域の浅いところでこれまでに発生した被害地震は、主に別府-島原地溝帯に沿った地域とその周辺(布田川・日奈久断層帯に沿う地域など)で発生しています。

九州東方の海域では、フィリピン海プレートが九州の下へ沈み込むことに関係した地震が発生し、これらの地震でも熊本県内に被害が生じることがあります。さらに陸域の下へ深く沈み込んだフィリピン海プレート内の地震で被害を受けることがあります。

熊本県では、南海トラフ沿いの巨大地震のなかで、四国沖から紀伊半島沖が震源域となった場合、地震の揺れなどによる被害を受けることもあります。

熊本県の主要な活断層には、大分県の別府湾から熊本・大分県境まで延びる別府・万年山断層帯、阿蘇外輪山から八代海南部に延びる布田川・日奈久断層帯、県南西部から鹿児島県に延びる出水断層帯、県南東部に延びる人吉盆地南縁断層があります。

